

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町議会議員 近藤 大介



令和元年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	令和元年10月3日(木)～4日(金)	
2	研 修 地	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研究所	
3	研 修 内 容	( 内 容 )	( 場 所 )
		町村議会議員特別セミナー	滋賀県大津市
4	概 要 (意見・感想)	(1) 近未来の日本農業と地域社会～政策を考える基本視点～ 講師：福島大学食農学類長 生源寺 真一 教授 ・食生活の変化…コメの消費量が減り、肉類、牛乳、乳製品の消費が増えた。 ・食糧安全保障は自給率だけでは語れない…自給率が高い貧困国もある。 ・農村の共同行動(役目、総事)…メンバーの多様化、納得を得るための調整要。 ・農業政策がコロコロ変わりすぎ、現場の担い手や行政への配慮を欠いている。 (感想)近年の農政の流れを俯瞰的にみることができ知見を深めることができた。	
		(2) 内発力は逆境を順境に変える 長野県川上村 藤原 忠彦 村長 ・面積 209 km <sup>2</sup> 、人口 4833 人、内約 1000 人は外国人労働者。レタス産地。 ・農家戸数 518、平均販売金額約 4000 万円～3500 万円。 ・ヘルシーパーク構想…村は屋根のない病院…県下一低い医療費、看取りの推進。 ・「村民信じて」24時間開設の図書館、若者には「気取った」ものも必要。 (感想)村長8期目、80歳の藤原村長はとても若々しかった。地域の特性を生かすことの大切さを改めて感じた。	
		(3) 「子育て」で地域に人を呼び戻す～森のようちえんを起点とした取り組み～ 智頭町森のようちえん まるたんぼう 西村 早栄子 理事長 ・日本の子育ては「過保護では？」…母親としての危機感がきっかけ。 ・日本らしい風景・風習、日本人としての感性、美意識を大切にしている。 ・「理想の子育ての場所」として智頭への移住者が増えている。 (感想)田舎のデメリットもあるが、「都会と同じことを目指しても勝てっこない」として、地域の魅力を最大限生かした子育てが行われていると感じた。	
		(4) 企業活動から見える地域との関わり タビオ株式会社 越智 直正 代表取締役会長 ・靴下専門店の全国チェーン「靴下屋」を一代で築いたタビオ創業者。 ・長嶋(茂雄)のバットを研究してもホームランは打てない＝技術や道具に目を奪われて、本質を忘れてはいけない。 ・「問題点がわかれば、解決できないことはない」 (感想)「志」何をしたいか明確にすることで、課題を見つけていくことが問題解決につながるのだと学んだ。	